

# 質 疑 一 般 質 問



ごとう ゆういち  
**後藤雄一** 議員

公明熱海

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会  
公共施設整備等特別委員会  
(委員長)

## その他の質問項目

■伊豆山土石流災害における  
災害公営住宅建設計画

11月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



## 終活支援事業あんしんについて 消防と医療機関とのコミュニケーションについて

**〔質問〕** 終活支援事業あんしんについては、事業開始から6年が経過し事業内容などを見直す時期と思われるが、事業内容について改善を検討しているか。

**〔答弁〕** 現在の事業は対象の方と協力葬儀社が生前の契約により、亡くなられた後、火葬から納骨までのごく限られた範囲の支援に特化した事業である。課題認識や先行事例を踏まえ、事業のあり方を見直すべき時期に来ていると認識しており、支援メニューの充実と

終活事業の担い手として、協力葬儀社はもとより、地域福祉の担い手でもある社会福祉法人を終活支援事業者として参画させるなど体制の再構築に向け検討したい。

習熟などを目的に、運用救急救命士には2年間で48時間以上の病院実習が定められている。このため、市内の二次医療機関で病院実習を実施している。この実習をはじめ、医療機関で開催される研修会や勉強会に参加することで医師、看護師などの病院関係者とのコミュニケーションを図っている。

**〔質問〕** 救急搬送時において、救急隊員と救急患者を受け入れる医療機関が阿吽の呼吸で対応できることが望ましいと考えるがコミュニケーションはどのようになっているのか。

**〔答弁〕** 医療機関との連携維持や救急医療に対応する知識と技術の

## 観光A1システム・リクルートとの※コンソーシアムについて

### 人口減少や消滅可能性自治体に分類されたことを踏まえた対策について

**〔質問〕** 観光A1システムの導入によりどのような効果が期待されるのか。

**〔答弁〕** AIシステム導入により、データ収集から分析、施策実施までの一連の流れを効率化し、競合エリアとの差別化を図るためのプロモーション素材や方法の提案が可能となる。観光事業者や市民に対して迅速かつ効果的なデータ活用仕組みを提供し、本市の観光振興に貢献することを目指して取り組む。

**〔質問〕** 消滅可能性自治体への指定を受けているが、他都市では、事業ごとの成果を検証して政策の重点化を行っている例もあるが本市の見解は。

**〔答弁〕** 前提となる仕事や雇用の機会の創出の次に子育て支援策や住宅政策の強化など、子育て世代や働く

世代が安心して暮らせる環境づくりは、どれも重要であり、総合的なアプローチが必要と考える。

**〔意見〕** 市長は全庁連携で進めるというが全国の消滅可能性都市が直面している課題は、まさに分野横断の調整コストと意思決定の遅さであり市長直轄のミッション型組織が求められる。人口が減り続ける中でもっとも重要だからと言って結果的に何も重点化されないこと。そして最も危険なこととは判断の先送り。本市は観光の光の裏で人口構造という静かだが確実な危機が進行している。私は市長と市役所の皆さんに従来の延長線上にとどまらない新たな発想による人口政策を総動員し取り組むことを強く求める。



はしもと かずみ  
**橋本一実** 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会  
広域行政推進特別委員会

## その他の質問項目

■伊豆山復興事業の進捗状況  
■熱海市消費生活センター

11月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから

